

鶴五中 進路だより



各家庭で、生徒本人と保護者で必ず熟読してから、面談に臨みましょう。

この進路だよりを三者面談に必ず持参して下さい。

面談当日は、筆記用具と各高校募集要項(タブレット可)も必要です。

R8年度 鶴岡工業高等専門学校（高専）の入試について

(1) 学科創造工学科（160名） 2年生から4つのコースに分かれます。

(2) 出願生徒本人・保護者がWebで行う。顔写真（P. 2(8)参照）も必要。

必要な生徒に募集要項は配布済み。

(3) 推薦選抜

① 定員80名（デジタルデザインコースへ推薦入学の10名を含む）

② 出願登録受付期間令和7年12月8日（月）～令和8年1月6日（火）昼12:00まで

原則として12月の三者面談を終えた当日に行う。

③ 出願書類受付期間令和7年12月23日（火）～令和8年1月6日（火）17:00まで

④ 受験日令和8年1月17日（土）【1月第3土曜】

追試験：1月31日（土）（詳細はP. 12参照）

⑤ 出願資格（1）本校への入学意志がかつて、人物が優れている者

（2）「学習の記録」の評定が、次の条件のいずれかを満たす者

① 9教科の1年～3年の評定合計が98／135以上

② 5教科の2年～3年の評定合計が36／50以上

⑥ 選抜方法「個人面接」と「調査書」を総合判定（比率2：8）面接では「アドミッション・

ポリシー」を聞かれるのでしっかり準備する。

⑦ 合格発表令和8年1月22日（木）

(4) 学力選抜

① 定員80名（推薦選抜の合格者が80名に満たなかった場合はその分も含む）

② 出願登録受付期間 令和8年1月7日（水）～1月26日（月）昼12:00まで

原則として出願期間の1日目に行う。

③ 出願書類受付期間令和8年1月20日（火）～1月26日（月）17:00まで

④ 受験日令和8年2月8日（日）【2月第2日曜】追試験：2月15日（日）

⑤ 選抜方法「学力検査」と「調査書」を総合判定（比率7：3）

⑥ 学力試験

ア) 検査科目4教科（国語・数学・理科・英語）※社会は実施しない。

マークシート方式（不測の事態により、記述式で行う場合もある。）

イ) 検査時間1教科50分

ウ) 配点各教科100点満点、4教科400点満点

⑦ 合格発表令和8年2月17日（火）

(5) 二次募集

- ① 推薦選抜・学力選抜において定員 160 名に満たなかった場合は、二次募集が行われることがある。
- ② 実施要項は Web で発表される。中学校でも確認するが、生徒本人・保護者も注視する。
- ③ 二次募集の日程が、公立・後期（一般）選抜の日程と重なることが予想される。高専および出願済みの公立高校それぞれに連絡や文書の提出が必要となるので、期限を厳守。

(6) 推薦選抜について

- ① 面接：調査書 = 2 : 8 の比率となります。
- ② 面接について
 - (ア) 「アドミッション・ポリシー」については必ず質問される。
 - (イ) 口頭試問はなくなりましたが、面接の中で「知識」は必ず質問される。
 - (ウ) デジタルデザインコースを希望した場合は、「なぜ、デジタルデザインコースを選んだのか。デジタルデザインコースでやりたいことは何か。」を必ず質問される。
 - (エ) デジタルデザインコースを希望した場合は、数学と理科の評定が重く見られる。
 - (オ) 「推薦選抜で不合格となった場合で引き続き学力検査を受検する場合」を選択した場合、出願書類（検定料を含む）を再度提出しないで受験可能となる。

(7) 学力選抜について

- ① 学力検査：調査書 = 7 : 3 の比率となります。
- ② 全国共通の問題であるため、特に数学と理科がとても難しかったり、癖が強かつたりする。市販されている過去問題集に取り組むことを薦めます。

(8) Web 出願について

- ① 顔写真が必要。原則として、顔写真データを Web 出願システムにアップロードする。アップロードすると「写真票 2 枚」、「受検票」に写真が表示され、その状態で印刷することができる。顔写真データのアップロードをせずに、「写真票 2 枚」「受検票」を印刷した後に顔写真を貼り付けることもできる。その場合、縦 4 cm × 横 3 cm で撮影した写真が 3 枚必要。（出願前 3 か月以内に撮影した正面向き上半身無帽無背景のもの）

② 出願完了後、印刷した「写真票 2 枚」を中学校へ 12 月 23 日（月）まで提出。

- ③ 中学校が書類（推薦書、調査書、写真票 2 枚）を高専へ提出すると、「受領完了メール」が生徒本人・保護者へ届く。その後、生徒本人・保護者が「受検票」を印刷。

※高専推薦・学力選抜を受ける生徒は、2月 17 日まで公立 Web 出願システム上では、「公立高校の選抜手数料 2,200 円」を未納のままにしておく。

※2月 17 日高専学力選抜の結果が出た後、不合格者は「公立 Web 出願システム」にアクセスし、公立高校の後期一般試験への手続きをする。「選抜手数料を納付」、「公立高校名、学科名」を入力し、出願手続きを完成させる。

R8年度 公立高校の前期（特色）選抜について

(1) 志願資格① 当該高等学校が定める出願要件を満たしている者

② 合格した場合は、入学が確約できる者

(2) 志願受付期間【中学校】令和8年1月5日（月）～8日（火）昼12:00まで

【志願者】出願情報の登録は、三者面談を終えた当日に行ってください。

(3) 検査日 A日程 令和8年1月20日（火）

B日程 令和8月2月 3日（火）★田川地区のB日程は致道館のみ

※A日程とB日程の両方に出願することはできません。

(4) 出願要件 高校ごとに異なる。詳細について別資料を熟読すること。

(5) 選抜方法「調査書」および「各高等学校が選択した検査」の結果に基づき選抜

(6) 検査方法 高校ごとに異なる。詳細は下記を確認。

致道館	全日制	普通	個人面接	時間10分程度
			作文	時間50分、字数600字程度 <u>（資料の読み取りを含む）</u>
		理数	個人面接	時間10分程度
			学力検査	数学 ・検査時間50分、記述式 ・中学校1～3年で学習する内容を出題、 「三平方の定理」、「標本調査」を除く
鶴岡工業	全日制	工業	個人面接	時間8分
鶴岡中央	全日制	普通	学力検査	・検査時間75分 ・中学校までに学習した国語・数学・英語の基礎的な内容が身に付いているかを測る ・3教科で計90点出題
		総合	集団面接	時間25分程度、1グループ5人程度
加茂水産	全日制	水産	個人面接	時間10分程度
			作文	時間50分、字数500字以上600字以内
庄内農業	全日制	農業	集団面接	時間10分程度
			作文	時間50分、字数600字以内
庄内総合	全日制	総合	集団面接	時間15分、1グループ4人程度
			作文	時間50分、字数400字以上600字以内
	定時制	総合	個人面接	時間10分
			作文	時間50分、字数400字以上600字以内
			発表	詳細は別資料で

(7) 前期特色選抜で受験する場合の流れ

- ① 生徒本人・保護者が、前期（特色）選抜での受験の意思があることを担任へ申し出る。
- ② 中学校が「出願要件」を満たしているかを確認する。
⇒ 満たしていないければ、三者面談の中で担任からその旨が伝えられる。
- ⇒ 他の公立高校の前期特色選抜を受けるか検討は可能。

12月23日（月）17時まで、保護者が中学校に電話で伝える。

- ③ 必要に応じて生徒本人・保護者が中学校へ「面接・作文練習申込書」を提出する。

④ 生徒・保護者が、山形県公立学校Web出願システムにより、出願情報の本登録を行う。

出願登録受付期間 令和8年1月5日（月）～1月8日（木）昼12:00まで
原則として出願期間の1日目に行う。

- ⑤ 入学者選抜手数料として、全日制の課程にあっては2,200円、定時制の課程にあっては950円を納付する。

- ⑦ 担任が、調査書情報をWeb出願システムに登録する。

- ⑧ 希望があった場合は、面接練習および作文練習を行う。

- ⑨ 前期（特色）選抜を受験する。

- ⑩ Web出願システムで選抜結果が通知される。（合格内定）

A日程 令和8年1月29日（木）16:00

B日程 令和8年2月12日（木）16:00

合格発表 令和8年3月17日（火）

- ⑪ 選抜に漏れた場合、原則として次の4つのパターンから選択する。

- ア) 公立・後期（一般）選抜で、同じ学校・同じ学科に出願する
- イ) 公立・後期（一般）選抜で、同じ学校・別の学科に出願する
- ウ) 公立・後期（一般）選抜で、別の高校に出願する
- エ) 併願ですでに合格している私立高校へ入学する

- ⑫ 後期（一般）選抜への志願

- ア) 前期（特色）選抜の合格内定者は、改めて他の高等学校に出願することはできない。
- イ) **前期（特色）選抜に漏れた者で、後期（一般）選抜を志願する者は、山形県公立学校Web出願システムで新たに後期（一般）選抜の志願情報の登録が必要となる。**
- ウ) ただし、私立高等学校への志願変更あるいは、以降志願を行わない場合は、手続きを要しない。

エ) なお、入学者選抜手数料の納付については、次のとおりとする。

県立高等学校間の場合（県立 ⇄ 山形市立は、別となります。）

① 同一課程間の志願変更にあっては、改めて納付を要しない。

※ 同一過程間：全日制→ 全日制、定時制→ 定時制

② 全日制の課程から定時制の課程への志願変更にあっては、納付を要しない。

ただし、入学者選抜手数料の差額分については還付を行わない。

③ 定時制の課程から全日制の課程への志願変更にあっては、入学者選抜手数料の差額分 1,250 円を納付する。

※ 納付を要しない場合は、Web 出願システムで「納付済」と表示される。

(8) 面接と作文への対応

① 前期（特色）選抜の検査方法として、多くの高校・学科では「面接」と「作文」が課されています。それぞれに対して心構えや準備をしっかりとしておかないと、対応が難しくなる。

② 面接では、「志望の動機・理由」「学科への適性・興味・関心」「将来の希望（キャリア形成）」などについて、自信を持って的確に受け答えする力が求められる。

③ 作文では、自分の考えを言語化し、文章の構成を整理して、正しい日本語・漢字で時間内に書く力が求められる。

④ 教科の学習に加えて、面接と作文の準備も進める必要があるため、より効率的に時間を計画・管理し、実行する力が求められる。

※面接練習・作文練習を希望する人は、水色の用紙(配布済)を12月19日(金)まで担任に提出する。

R8年度 公立高校の後期（一般）選抜について

(1) 志願資格 前期(特色)選抜において合格内定していない者

(2) 志願受付期間 【中学校】令和8年2月18日（水）～24日（火）昼12:00まで

【志願者】出願情報の登録は、上記期間の前に行う。

登録は1月9日（金）に各家庭で行う。

(3) 検査日令和8年3月7日（土）追検査：3月12日（木）

(4) 選抜方法「調査書」および「学力検査の成績」に基づき選抜

(5) 検査科目5教科（国語・数学・社会・理科・英語）

(6) 検査時間1教科50分

(7) 配点各教科100点満点、5教科500点満点

(8) 検査時刻 国語 8:50～9:40

数学 10:00～10:50

社会 11:10～12:00

理科 12:50～13:40

英語 14:00～14:50（10分間リスニングあり）

(9) 面接実施する高校と実施しない高校がある。後日、各高校から発表される募集要項によるので、各高校の詳細を確認する。（参考）学力検査終了後、グループ面接、面接官は2～3名。

(10) 流れ

① 生徒本人・保護者が、山形県公立学校Web出願システムにより、出願情報の登録を行う。

② 必要に応じて生徒本人・保護者が中学校へ「面接練習・作文練習 申込書」を提出する。

③ 入学者選抜手数料として、全日制の課程にあっては2,200円、定時制の課程にあっては950円を納付する。

④ 中学校が調査書情報をWeb出願システムに登録する。

⑤ 後期（一般）選抜を受験する。

⑥ 合格発表令和8年3月17日（火）※Web出願システムで選抜結果が通知される。

R8年度 私立高校の入試について

(1) 出願 出願期間は、各高校の募集要項で確認してください。

原則として、12月の三者面談を終えた当日に手続きを行う。羽黒高校は別日程。

ただし、三者面談が出願期間外の日の場合は、別に出願日をお知らせします。

(2) 検査日

鶴岡東 前期試験（サポート入試あり） 令和8年1月14日（水）

後期試験 令和8年2月14日（土）

羽黒 部活動奨励制度入試・入学会金減免制度入試 令和8年1月17日（土）

学業奨励制度入試・5教科一般入試 令和8年1月27日（火）

3教科一般入試・留学生入試 令和8年2月14日（土）

酒田南 専願入試（スカラシップ入試あり） 令和8年1月21日（水）

併願入試 令和8年1月28日（水）

★ 各私立高校とも、3月17日の公立高校合格発表日の後に行なわれる入学試験もあります。

(3) 選抜方法「学力検査」、「調査書」、「作文」、「面接」などで総合判定

(4) 特待制度鶴岡東は「サポート」、羽黒は「奨励制度」、酒田南は「スカラシップ（専願）」という特待制度がある。学習成績や特別活動（部活動等）など、様々な条件によってランクが決まり、それによって入学会金・授業料・奨学金などの金額が変わる。

(5) 受験料について 私立高校 18,000円

R8年度 推薦入試について

★ 共通 推薦入試では「合格内定か否か」が判定される。あくまで「内定」なので、その後の生活によっては内定取り消しもあり得る。

(1) 高専の場合

- ① 推薦入試では、「高専で頑張りたい」という強い志望動機が求められる。
- ② 提示された「出願資格」を満たし、かつ、中学校長の推薦を得なければ出願・受験することはできない。
- ③ 推薦入試で合格内定とならなかった場合、原則として学力入試でも高専を受験することになる。つまり、学力入試でも十分合格できる学力等をしっかり身につけておく必要がある。

(2) 私立高校の特別活動（部活動等）推薦の場合

- ① 高校の部活動顧問による推薦がなければ出願・受験することはできない。
- ② 各高校から提示された要件を満たしていなければ、出願・受験することはできない。
- ③ 推薦入試では「この高校の部活動等で頑張りたい」という強い志望動機が求められる。
- ④ 推薦入試で受験できるのは「1校」のみで、「専願」となる。

(3) 私立高校の自己推薦の場合

- ① 各高校から提示された「出願条件」を満たしていなければ、出願・受験することはできない。
- ② 推薦入試で受験できるのは「1校」のみで、「専願」となる。

R8年度 推薦入試・推薦選抜の流れについて

■ 高専の場合（中学校長による推薦）

- (1) 生徒本人・保護者が、推薦選抜の意思があることを12月5日（金）まで担任へ申し出る。
- (2) 中学校が「推薦基準」を満たしているかを確認する。
⇒ 満たしていないければ終了。担任からその旨を伝える。
- (3) 必要に応じて生徒本人・保護者が中学校へ「面接・作文練習申込書」を提出する。
- (4) 校内推薦委員会で検討し、中学校長が推薦の可否を決定する。
- (5) 中学校から生徒本人・保護者へ「推薦可」「推薦不可」を連絡する。
⇒ 不可の場合は終了。担任からその旨を伝える。
- (6) 中学校長が「推薦書」を、担任が「調査書」を作成する。
- (7) 生徒本人・保護者がWebで出願を行う。
- (8) 生徒本人・保護者が「写真票2枚」を中学校へ提出する。
- (9) 中学校が上記の「推薦書」、「調査書」、「写真票2枚」を高専へ提出する。
- (10) 「受領完了メール」が届いたら、生徒本人・保護者が「受験票」を印刷する。
- (11) 希望があった場合は、面接練習を行う。
- (12) 推薦選抜を受験する。⇒ 選抜結果が通知される。（合格内定）

■ 私立高校の場合

◎ 特別活動（部活動等）推薦の場合

- (1) 生徒本人・保護者が高校とWeb等でやりとりし、面談の日時を決定し、その内容を中学校へ連絡する。
- (2) 生徒本人・保護者が推薦で受験するかしないかを決定し、その内容を中学校へ連絡する。（説明を聞いた後、1週間以内をめどに）
- (3) 必要に応じて生徒本人・保護者が中学校へ「面接練習・作文練習申込書」を提出する。
- (4) 生徒本人・保護者がWebで特待制度の申し込みおよび出願を行う。
- (5) 担任が「調査書」を作成し、高校へ提出する。
- (6) 希望があった場合は、面接練習および作文練習を行う。
- (7) 推薦入試を受験する。⇒ Web出願システムで選抜結果が通知される。（合格内定）

◎ 私立高校自己推薦の場合

- (1) 生徒本人・保護者が、推薦入試の意思があることを担任へ申し出る。
- (2) 中学校が「出願条件・認定条件・出願資格・出願基準」を満たしているかを確認する。
⇒ 満たしていないければ、三者面談で担任からその旨が伝えられる。
- (3) 必要に応じて生徒本人・保護者が中学校へ「面接・作文練習 申込書」を提出する。
- (4) 生徒本人・保護者が Web で特待制度の申し込みおよび出願を行う。
- (5) 担任が「調査書」を作成し、高校へ提出する。
- (6) 希望があった場合は、面接練習および作文練習を行う。
- (7) 推薦入試を受験する。⇒ Web 出願システムで選抜結果が通知される。(合格内定)

R8 公立高校について(12~3月までの流れ)

(1) 募集要項について

- 各高校のウェブサイトからダウンロード（閲覧）することになります。（11月14日～）

(2) Web出願システムについて 詳細は「志願者向けマニュアル」を熟読してください。

	志願元学校（中学校）	志願者（生徒本人・保護者）
1	各生徒のマイページを作成し、案内を生徒に配付する。	
2		マイページの案内に従って、志願者情報を登録する。（住所、保護者のメールドレス等） ★すでに中学校で登録済みの情報は編集・訂正しないこと
3	志願者情報が登録されたらロックする。 志願者情報を点検する。 ⇒ 誤りがあった場合は訂正する。	
4		出願情報を登録する。 ★出願先学校・学科、出願要件
5	出願情報が登録されたらロックする。 出願情報を点検する。 ⇒ 三者面談で確認した内容と違いがある場合は、保護者と連絡を取り、内容を一致させる。 ⇒ 必要に応じて修正する。	
6	出願情報の点検完了後、生徒を通じて、 入学者選抜手数料の納付について伝える。	
7		入学者選抜手数料を納付する。
8		受験票を印刷する。 前期（特色）選抜：1月14日～ 後期（一般）選抜：2月27日～
9	入学者選抜手数料の納付状況を確認する。	
10		検査当日、受験票を持参する。
11	合否を確認する。	合否を確認する。3月17日 16:00 ・前期（特色）選抜で合格内定となった人もマイページで確認する。 ・後期（一般）選抜で受験し、希望した人は、学力検査得点が確認できる。 ・合格したら、入学に向けた資料を確認できる。

■ 出願に関する留意点

ア 志願の取消しや締切り前の志願変更の対象者が確認された場合は、出身中学校長が志願先高等学校長へ電話連絡する。その後、山形県公立学校 Web 出願システムにおいて必ず公文書を添付ファイルとして提出するとともに、取消しや志願先の変更を行うこと。

(注 16)

イ 前期（特色）選抜の志願にかかわって志願先高等学校に調査書情報、評定概況及び学区外志願に係る書類等が登録済の場合は、登録を要しない。

(注 16) 志願の取り消しや締切り前の志願変更は、やむを得ない十分な理由がある場合にのみ行うこと。具体的には、出願後に転居などが決まった場合など。

※ つまり、「間違って出願したので変更します。取り消します。」などは認められない可能性が高い。

■ 追検査について

(1) 対象者 志願者のうち、次の①～②のいずれかに該当し、3月7日、8日実施の学力検査、適性検査（以降、本検査という）の受検ができず、追検査の受検を希望する者。ただし、**本検査を一部でも受検した者は、原則として追検査の対象とはならない。**

- ① インフルエンザ等の感染症に罹患するなどし、**本検査を受検できない者。**
- ② 真にやむを得ない理由により、**本検査を受検できない者。**

(2) 受検の手続

① 追検査の受検を希望する者は、次のア～イの連絡等を行う。

ア **本検査が受検できないと判明したら、速やかに在籍又は出身中学校長に連絡する。**
イ **上記①の場合、医師の診断書を、上記②の場合、本検査を受検できない理由を証明する書類を、在籍又は出身中学校長が定める期日まで在籍中学校長に提出する。**

② 追検査の受検を希望する者の在籍中学校長は、次のア～エの連絡・報告を行う。

ア 3月6日（金）までに、追検査の対象者が確認された場合、対象者の中学校名・受検番号・氏名を、3月6日（金）15時までに志願先高等学校長へ電話連絡する。
イ ②のア以降、3月7日（土）本検査当日の集合時刻までに、本検査を受検できない志願者が新たに確認された場合、対象者の中学校名・受検番号・氏名を、当日できるだけ速やかに志願先高等学校長へ電話連絡する。

※ 本検査の日に受験できるよう、健康管理に努めましょう。
家庭でも学校全体でも

- ウ ②のア、イに該当する生徒がいる場合、3月10日（火）15時までに、追検査受検願（別記様式第5号）及び医師の診断書又は本検査を受検できない理由を証明する書類を、山形県公立学校Web出願システムで添付ファイルとして提出すること。
なお、やむを得ない事情により期限までに提出できない場合は、提出期限まで志願先高等学校長に電話等で連絡した上で、速やかに提出する。
- エ 対象者に対して受検にあたり、新たに特別な配慮が必要になった場合は、速やかにその旨を志願先高等学校長に連絡する。

R8 私立高校について(12~3月までの流れ)

(1) 「国の就学支援金」及び「山形県の授業料軽減事業費補助金」による授業料負担軽減の補助があります。ただし、国と県の政策変更により、金額が変更になる場合があります。

(2) Web での出願となるため、生徒本人・保護者がすべての手続きを行います。

(3) 各高校に特待制度があります。

★鶴岡東「サポート」 ★羽黒「奨励制度入試」 ★酒田南「スカラシップ（専願）」

特待制度の「**ランクを決定する評定**」は、「**1学期、2学期のいずれかの評定(5教科／9教科)**」となります。

(4) 外字が必要な氏名・住所の場合は、Web 上で入力できる漢字を使ってください。

(5) 出願期間が始まっても、12月の三者面談が終わるまで手続きを行わないでください。

(6) 三者面談が終了したら、担任と確認した通りに出願登録してください。原則として三者面談を終えた当日に手続きを行ってください。受験料の納付は12月24日までに終えてください。

※羽黒は、以下の日に手続きを行ってください。

部活動奨励制度入試、入学金減免制度入試、学業奨励制度入試	12月29日
5教科一般入試	1月 7日
3教科一般入試	1月 30日

上記の出願手続きを終えた後、速やかに受験料の納付を終えてください。

(7) **受験票は各家庭で印刷**することになります。コンビニ等でスマホから印刷する場合は、専用アプリのインストールが必要になりますので、事前に確認してください。

(8) **出願後、1回目の検査日に受験するのが困難になった場合、事前に高校に連絡する**必要があります。検査日当日の朝に発熱等があった場合も、分かった時点ですぐに高校に連絡し、対応を尋ねてください。その後、必ず中学校にも連絡してください。事前に高校に連絡した上で、2回目の検査日に受験し合格すれば、特待制度で同等の特典が得られます。

(9) **インフルエンザ等の学校感染症に罹患し、1回目の検査日に受験できなかつた場合は、2回目の検査日に受験すること**になります。その場合、受験料を再度支払う必要はありません。

(10) 個人的な理由で1回目の検査日に受験することができず、2回目の検査日に受験することになった場合は、再度受験料を支払う必要があります。